



都立南大沢学園通信

～情熱・誠実・実践～

東京都立南大沢学園
校長 井上 美保
令和5年9月1日発行
9月号

4S・UD・スタンダード

～ 主体的に学びに向かうベースを整える ～

校長 井上 美保

夏季休業中は、生活のリズムを整え、自分の行動に責任をもって過ごすことができたでしょうか。

夏季休業明けはリズムが乱れやすくなります。自分自身で体調管理をしっかりと行い、学習を積み重ねていきましょう。

さて、今年度、本校では「4S」「南大沢UD」「南大沢スタンダード」を生徒たちが主体的に学びに向かう指導のベースとして捉え、学校として統一した学習環境の整備を図っています。障害特性ゆえに、自ら選択したり、主体的に学んだりすることが苦手な生徒が多いことから、数年前から導入している「4S(整理・整頓・清潔・清掃)」は、場の構造化へと発展させ、生徒が守るべき事項を示した「南大沢スタンダード」は、さらに生徒にとって分かりやすくなるよう内容の精査を図っています。

就業技術科は、東京都の施策による開校当時のコンセプトにより、専門的な職業教育を行う学校として全国からも注目を浴びたことは御存知のことと思います。あれから10数年が経過し、原点に返った今、授業の専門家である教師たちが、教科指導の専門性を発揮することができるよう、本校独自の「南大沢UD(ユニバーサルデザイン)」を定めました。

本来のユニバーサルデザインによる授業は、特別支援教育の視点を生かした授業づくりであり、通常の学級に在籍する発達障害等を含む全ての生徒にとっても分かりやすいという考え方ですが、改めて、全校でこの考えを共有し、落ち着いて学べる学習環境を整えていくこととしました。

日常生活のほとんどの時間を学校で過ごす生徒たちにとって、学習が楽しく意義あるものでなければなりません。見通しがもちやすく、分かりやすい環境のもと、生徒たちが主体的に学習に取り組んでいけるよう、先生たちも努力をするから、生徒たちもこの思いを受け止め、真剣に学ぶ努力をしてほしいと思っています。

生徒たちが卒業後も自立し社会参加していく中で、自らが分かって環境を整えていくことは、スケジュール管理や仕事の効率化などに有効であると考えられます。

御家庭におかれましても、家庭生活の中で、学校と共有しあえる視点があるのではないかと考えていければと思っています。

さあ、まもなく9月の授業がスタートします。

生徒の皆さん、がんばっていきましょう。

ビルクリーニングコース

場所	乾式	モップ	合計	
1F	A廊下	9分	24分	33分
	B廊下	9分	24分	33分
	エコ棟廊下	4分	11分	15分
	玄関フロア	6分	14分	20分
→ 清掃時間 101分				
廊下	A廊下	9分	24分	33分
	B廊下	9分	24分	33分
	C廊下	6分	15分	21分
	エコ棟廊下	4分	11分	15分
	職員室～体育館	12分	32分	44分
→ 清掃時間 146分				
3F	A廊下	9分	24分	33分
	B廊下	9分	24分	33分
	C廊下	6分	15分	21分
	エコ棟廊下	4分	11分	15分
→ 清掃時間 102分				
階段	30～40分を目標に			
トイレ	まずは1か所40分を目標に (できる人は30分を目標に)			

作業時間の目標

【掲示物の一例】南大沢UDに則り、上記のような表示を示すことで、生徒は見通しをもち主体的に学習に取り組みます。

「南大沢UD」～生徒が主体的に取り組む授業を目指して

指導教諭 伊藤 佳子

夏休みが明け、学校生活が再開します。来週は前期の期末考査があり、他の教科も前期のまとめを行います。生徒の皆さん、前期の学習は、皆さんの知識や技能を増やすものとなりましたか。また、学習にあたっては、自分でよく考えたり、先生の助言を参考にしたり、友達の意見に耳を傾けたりして、学びを深められましたか。

本校では、生徒の皆さんに、主体的に学ぶようになってほしいと願っています。自ら進んで学び、目標をもち、その達成に向かいコツコツと継続していくことで、皆さんは将来の「なりたい自分」「ありたい生活」の実現に近づくことができるのです。

そのためには、全教員で生徒の学びやすく分かりやすい学習環境を整え、生徒が見通しをもち、主体的に学習に取り組めるよう指導方法を工夫することが必要です。そこでこのたび、授業における「南大沢UD」を、策定しました。「UD」とはユニバーサルデザインのことで、だれにとっても分かりやすく、使いやすいという考え方です。

下記に挙げたこの5本の柱を意識して、授業を展開していきます。これらの項目は、本校の教員の実践に基づいた考えや希望をまとめたものです。

また、生徒の授業の考え方もご紹介します。夏休みに部活動で登校した生徒に聞きました。

「楽しいと思う授業とは？」

- ・先生の説明が分かりやすい授業。興味がもてるようになるから。
- ・うまくいかないところを、先生と一緒にやってくれてできるようになる授業。もっと練習しようと思えるようになる。
- ・友達の意見が聞ける授業。いろいろな意見や知識が増えると嬉しいし、またやりたいなと思う。

「充実した授業とは？」

- ・自分ができそうだなということを目標にしてくれる授業。もっとうまくいくようにしたくなるし、次の目標を立てようと思える。
- ・大人になって生かせるということが分かる(身に付く)授業。この先のことが少し安心できると思うから。

同じように考えている生徒の皆さんも多いことと思います。皆さんが主体的に学べるような授業となるよう、私たちは、皆さんにとって分かりやすい「UD」、そしてまた、皆さん一人一人にとって分かりやすく取り組みやすい手立てを考え、工夫して、授業を展開していきます。

南大沢UD

～生徒が学びに向かうベースを整えるために～

I 『生徒が取組に見通しをもてる授業づくり』

- ・本時の目標・流れをあらかじめ明示する。
- ・毎回の授業の型をルーティーン化する。

II 『生徒が落ち着いて取り組める授業づくり』

- ・授業のルールを明確にする。(発言の仕方、授業開始・終了時刻の厳守など)
- ・環境の構造化を行う。(机上の整理、視覚的な刺激の少ない教室掲示など)

III 『生徒にとって理解しやすい授業づくり』

- ・情報伝達の仕方を工夫する。(文字の大きさや色、発話の音量や速度など)
- ・学びの焦点化を行う。(1回の授業で扱う内容を精選し、学習の要点を絞る)

IV 『生徒の主体性を引き出す授業づくり』

- ・達成できる学習目標を設定し、生徒にチャレンジさせる。
- ・前向きな言葉かけで、生徒一人一人の取組や態度を評価する。

V 『生徒が将来を見通せる授業づくり』

- ・「なぜこの学習を行うのか」について明示する。
- ・この学びが、将来どのような場面で活用できるかを伝える。